

# TOTO

## 洗面所用シングルレバー混合栓

TL389A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b> この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告		
 禁止	<p style="text-align: center;"><b>寒冷地用</b></p> <p><b>水抜コックは水抜き以外の目的で開けない</b></p> <p>水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

注意		
 禁止	<p><b>強い力や衝撃を与えない</b></p> <p>破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p style="text-align: center;"> 必ず実行</p> <p><b>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く</b> また、寒冷地用の場合は、「<b>9</b> 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う</p> <p>部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

警告		
 禁止	<p><b>湯水を逆に配管しない</b></p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	
	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しない</b></p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 分解禁止	<p><b>この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない</b></p> <p>破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

## 2

## 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗面所用

## 3

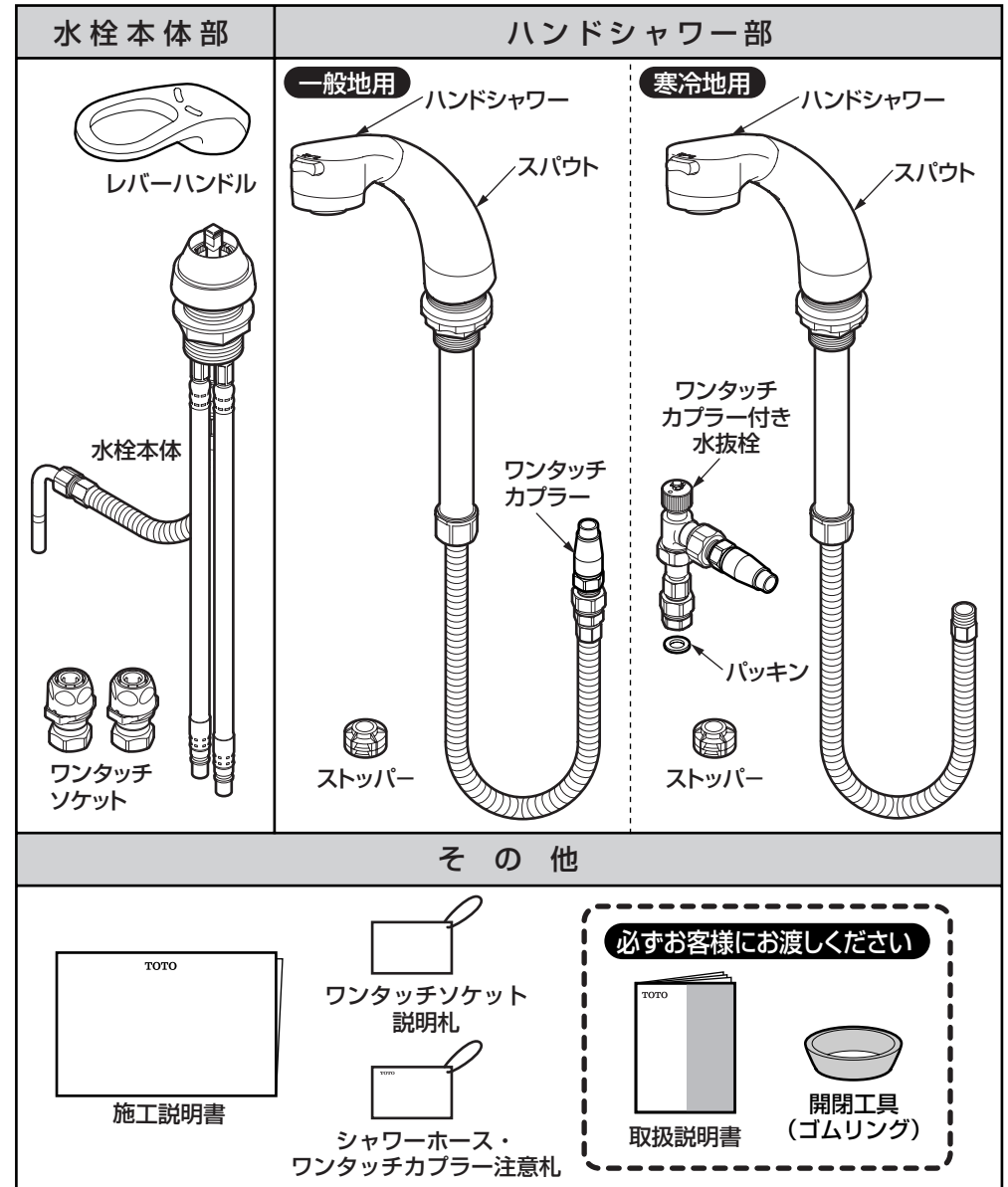
## 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

## 4

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

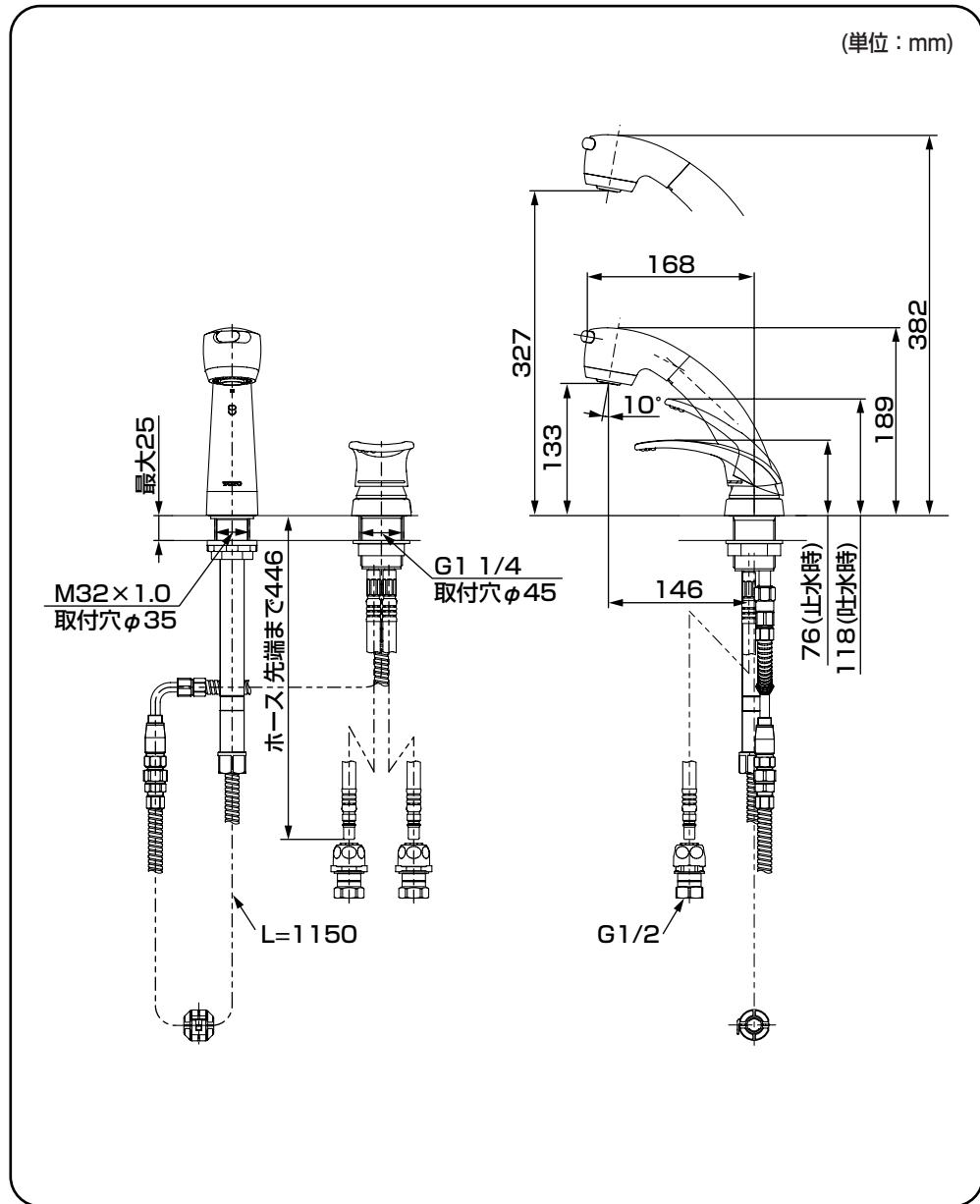


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# 5

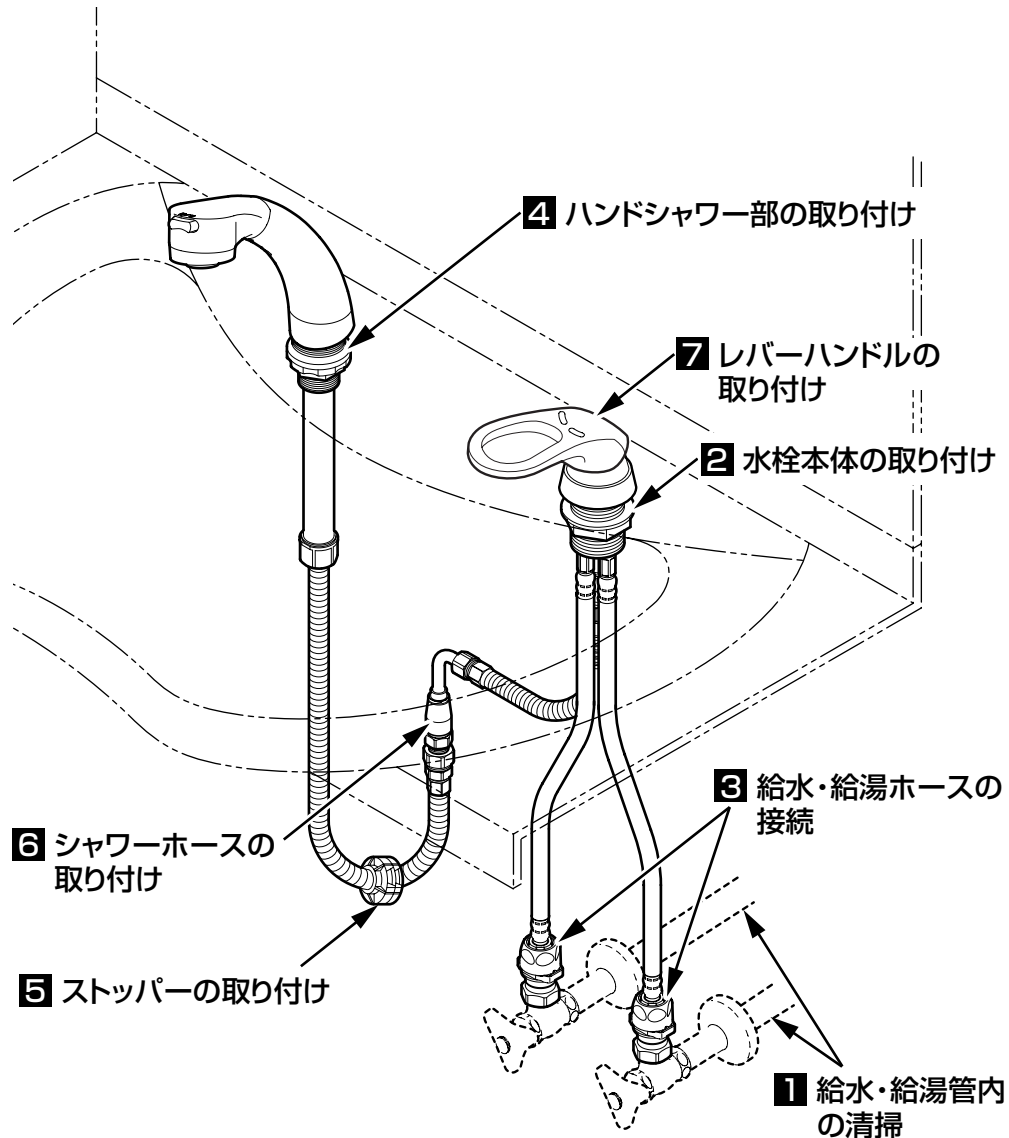
## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



# 6-1

## 施工手順



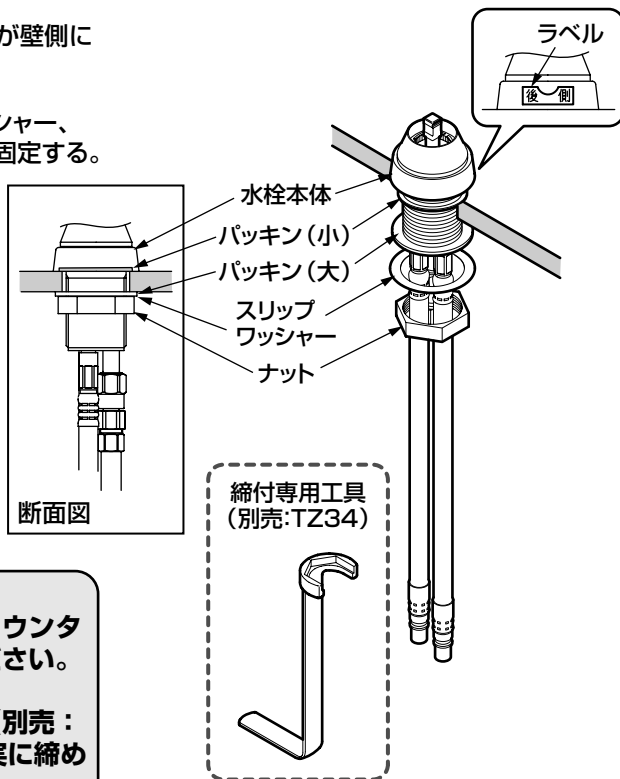
## 1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**重要**

## 2 水栓本体の取り付け

- ①水栓本体のラベル「後側」が壁側になるように仮固定する。
- ②パッキン(大)、スリップワッシャー、ナットを通し、水栓本体を本固定する。



**注意**

- パッキン(小)は必ずカウンターの上に取り付けてください。
- 固定には締付専用工具(別売:TZ34)を利用して確実に締め付けてください。

## 3 給水・給湯ホースの接続

- ①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

**注意**

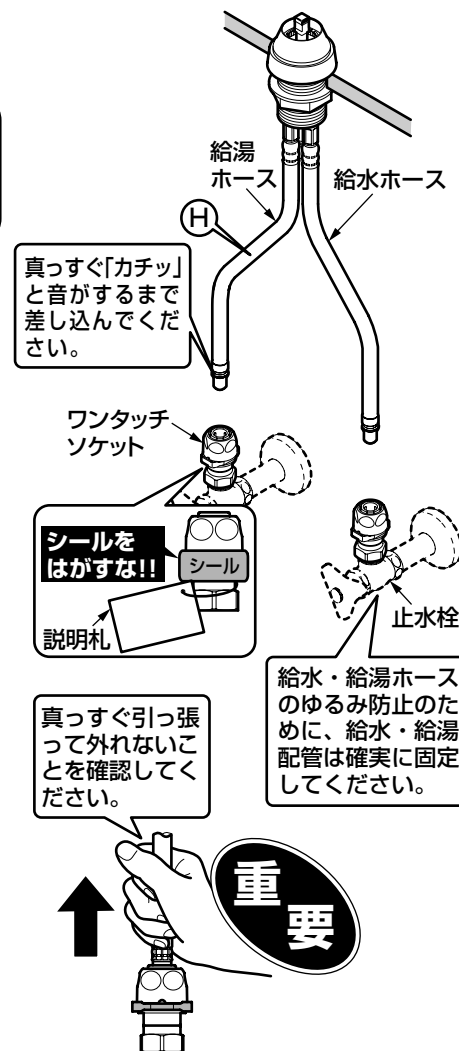
ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。そのままでもホースを差し込めます。

- ②給水・給湯ホースに**異物の付着がないこと**を確認し、ワンタッチソケットに**真っすぐ奥まで**(「カチッ」と音がするまで)確実に差し込む。確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。

- ③ホースを**真っすぐ引っ張って外れない(抜けない)**ことを必ず確認する。

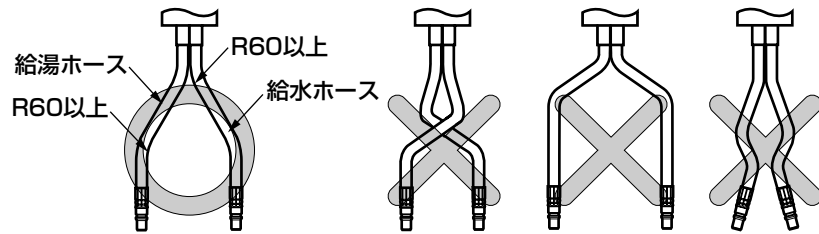
施工後、万が一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。



裏面へつづく

### 給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを**必要以上の力で曲げて折らないように**注意してください。ホースの**最小曲げ半径は60mm**です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを**水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで**ください。
- ホースを**無理に引っ張らないで**ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の**不要な接触は避けて**ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

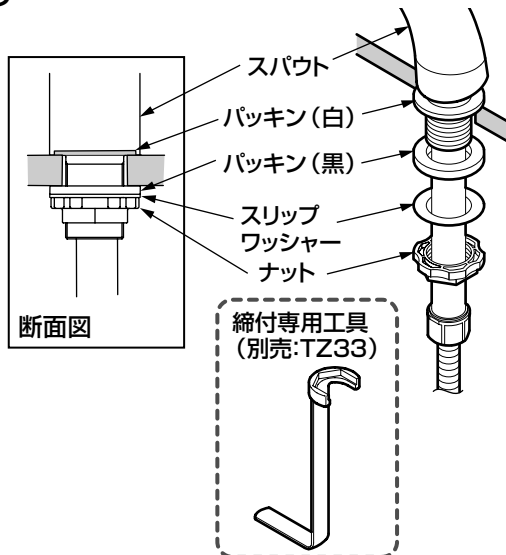


### 4 ハンドシャワー部の取り付け

シャワーホースにパッキン(黒)、スリップワッシャー、ナットを通し、スパウトを本固定する。

#### 注意

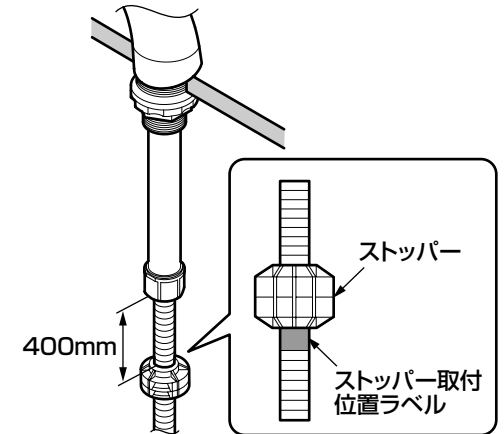
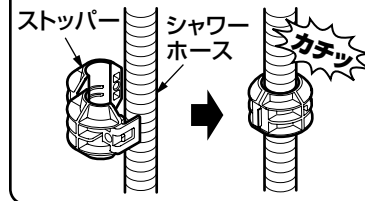
- パッキン(白)は必ずカウンターの上に付けてください。
- 固定には締付専用工具(別売: TZ33)を利用して確実に締め付けてください。



### 5 ストッパーの取り付け

右図の位置にストッパーを「カチッ」とはめ込む。  
※ホースを引き出したとき、ゆとりがない場合は適当にずらしてください。

#### 〈ストッパーの取付方法〉



### 6-1 シャワーホースの取り付け

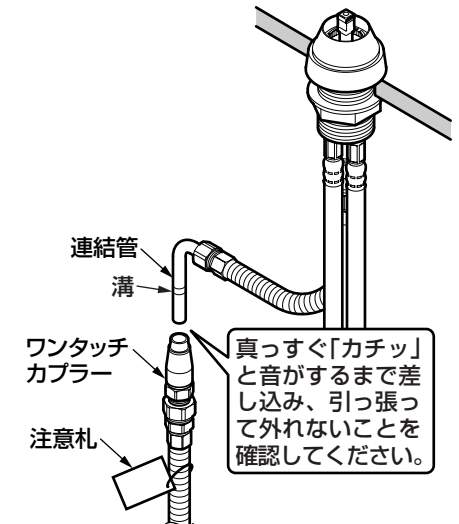
#### 一般地用の場合

ワンタッチカプラーを連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで**真っすぐ**差し込む。

#### 注意

異物の付着がないことを確認してください。

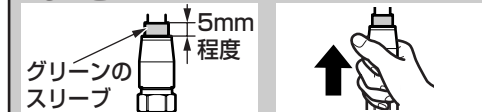
この際、同梱の「シャワーホース・ワンタッチカプラー」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。



#### 取り付け後の確認

#### 重要

- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること
- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること



#### 〈ワンタッチカプラーを取り外す場合〉

- ①グリーンのスリーブを押し込む
- ②ワンタッチカプラーを引き抜く

## 6-2 シャワーホースの取り付け(つづき)

### 寒冷地用の場合

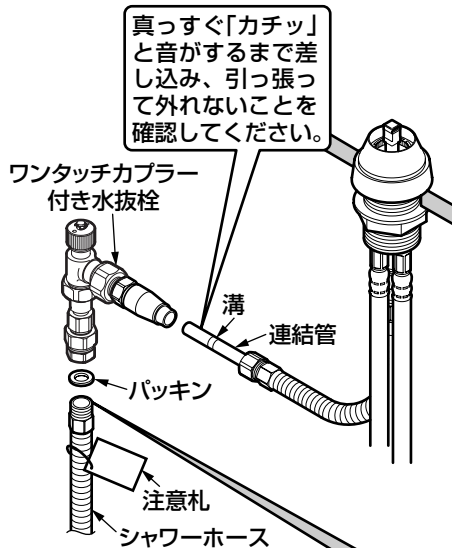
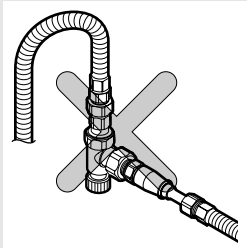
- ①水抜栓側の袋ナットを回して、シャワーホースを水抜栓に接続する。

この際、同梱の「**シャワーホース・ワンタッチカプラー**」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。

- ②ワンタッチカプラー付き水抜栓を連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで**真っすぐ**差し込む。

### 注意

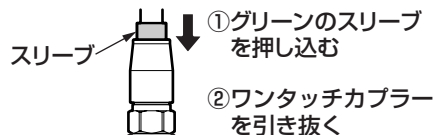
- 異物の付着がないことを確認してください。
- パッキンが入っていることを確認してください。
- 締め付けの際は、工具(モンキーレンチなど)を使用して確実に締め付けてください。
- 水抜栓の取付方向に注意してください。



### 注意

接続時、絶対にシャワーホース側のナットを回さないでください。

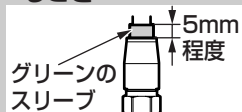
### <ワンタッチカプラーを取り外す場合>



### 取り付け後の確認

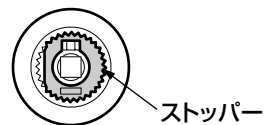
### 重要

- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること
- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること

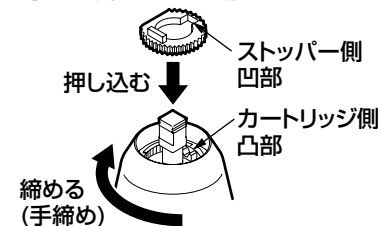


## 7 レバーハンドルの取り付け

- ①ストッパーの浮きや外れがないか確認する。  
※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部をあわせて押し込んでください。



### <浮きや外れがある場合>

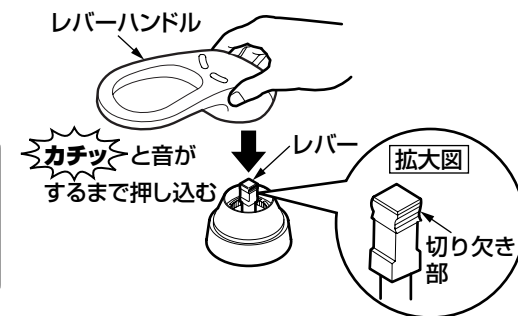


カートリッジ押さえ側の歯とストッパーの歯があわないときは、カートリッジ押さえを**締め込む方向**にて歯をあわせるように調整してください。

- ②レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
- ③レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

### 注意

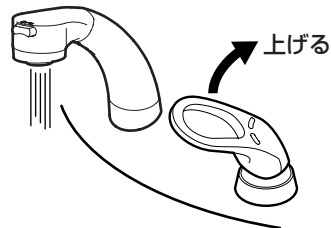
レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。レバーの切り欠きは**両サイド**にあります。



## 7 施工後の調節

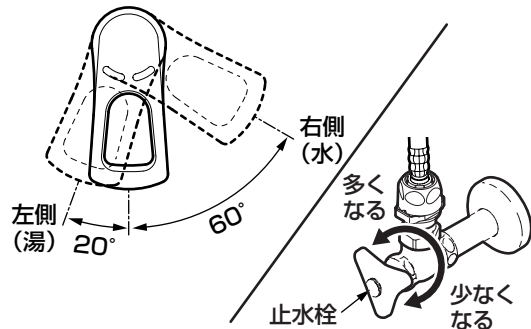
### 1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、ハンドシャワーから水が出るか確認してください。



### 2. 吐水温度の確認 (TL389A1型・TL389A2型の場合)

安全のため、高温になり過ぎないように、湯側（左）は約20°しか回転せず、レバーハンドルを湯側全開にしても水が混合される仕様になっています。現場にて適切な温度になるように止水栓を調節してご使用ください。



## 8 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことになるもので、故障ではありません。

## 9 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜き栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

2. 水受けトレイをビスから上げて手前に外す。

水受けトレイはキャビネット内にセットしてあります。

3. ハンドシャワーをストップするまで引き出す。

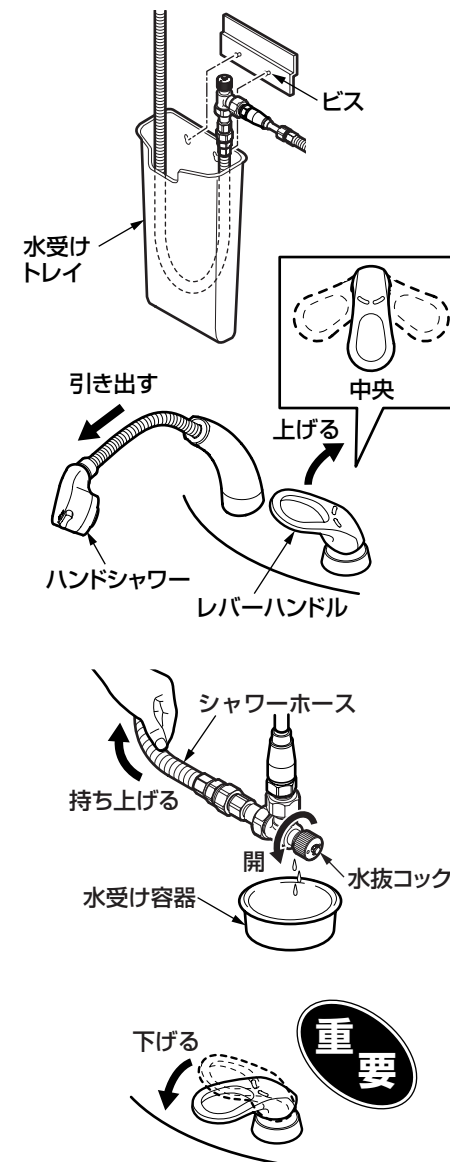
4. レバーハンドルを中央位置で上げる。

5. 水抜きコックの下に水受け容器（洗面器など）を用意し、水抜きコックを開ける。

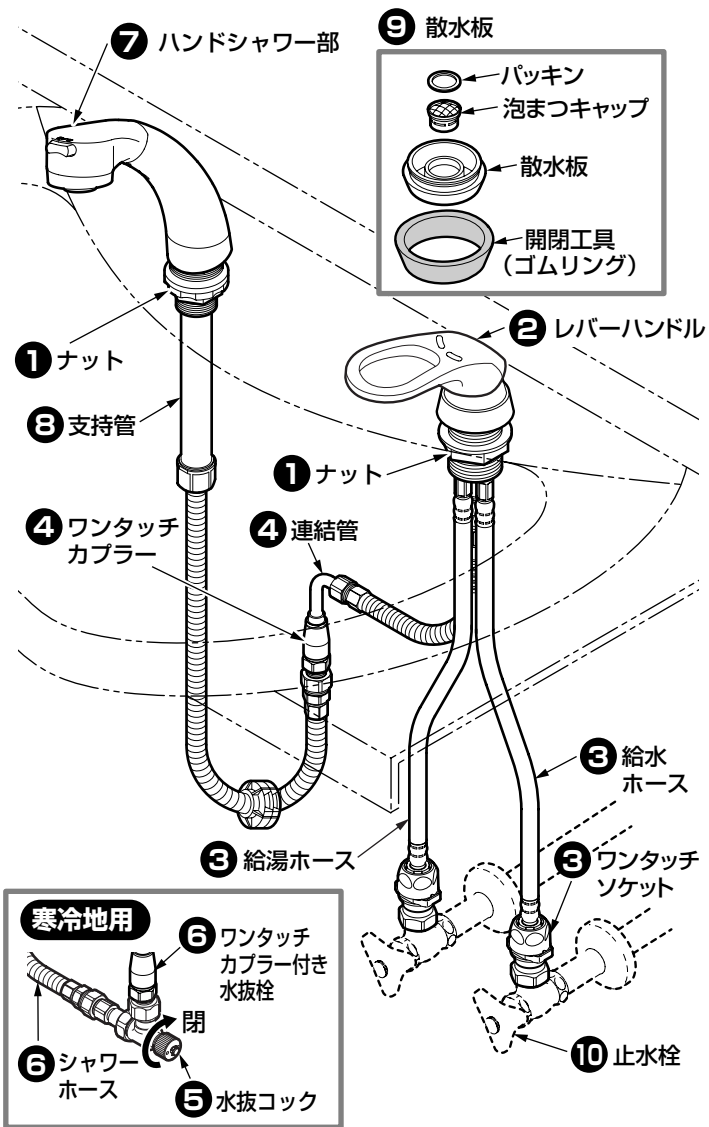
ホースを軽く上げて水抜きコックを最も低い位置にして、水抜きコックを開けてください。

6. ハンドシャワーをよく振って水を切ってから洗面ボウルの底に置く。

7. 水抜き完了後は、必ず水抜きコックを閉め、水受けトレイを元どおりにセットし、レバーハンドルを下げる。  
(水が出ない状態)



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ① 水栓本体およびハンドシャワー部のナットは確実に締め付けていますか？  
 ↳ 6-2 - ②「水栓本体の取り付け」参照  
 ↳ 6-3 - ④「ハンドシャワー部の取り付け」参照
- ② レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？  
 ↳ 6-4 - ⑦「レバーハンドルの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ③ 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？  
 ↳ 6-2 - ③「給水・給湯ホースの接続」参照
- ④ ワンタッチカプラーは連結管にしっかり差し込まれていますか？  
 ↳ 6-3 - ⑥「シャワーホースの取り付け」参照

寒冷地用の場合

- ⑤ 水抜コックはしっかり閉まっていますか？  
 ↳ 水抜コックを閉める。
- ⑥ シャワーホースはワンタッチカプラー付き水抜栓にしっかり接続されていますか？  
 ↳ 6-4 - ⑥「シャワーホースの取り付け」参照

動作確認

ハンドシャワーがスムーズに引き出せるか、またスバウトがスムーズに上げ下げできるか確認してください。

- ⑦ ハンドシャワーは洗面ボウルの先端付近まで引き出せますか？  
 ↳ シャワーホースが止水栓や排水金具に干渉していないか確認する。
- ⑧ 支持管がきちんと上げ下げでき、固定できますか？  
 ↳ 水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、支持管をふく。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ⑨ 散水板のごみ詰まりはないですか？  
 ↳ 散水板の掃除をする。
- ⑩ 止水栓は開いていますか？  
 ↳ 止水栓で流量を調節する。